



1 1 人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現 に向けた支援の充実

(国土交通省)

地域経済の活性化や地域活力の向上を図り、すべての市民や観光客の皆様の円滑な移動を実現し、交通政策基本法の基本理念を具現化することにつながる「歩くまち・京都」総合交通戦略をより一層推進していくため、次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 世界トップレベルの自転車共存都市・京都の実現に向けた制度創設等
- (2) 京都駅南口駅前広場整備をはじめとする人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を図るための財政支援
- (3) 交通アクセス向上に資するJR七条新駅（仮称）設置への財政支援

世界トップレベルの自転車共存都市・京都の実現への制度創設等



現状・課題

運転ルール違反, マナーの欠如, 歩行者等との交通事故の増加
 ⇒歩行者と自転車利用者が安全で快適に通行できる環境整備が必要
 自転車事故から被害者と加害者を守る保険制度が必要

○自転車での加害事故例

	賠償額	判決	事故の概要
1	約9,500万円	2013年 (神戸地裁)	小学生の児童が自転車で坂を下っている際に女性と衝突。被害者は寝たきりの状態となった。
2	約9,300万円	2008年 (東京地裁)	男子高校生が車道を横断し、対向車線の自転車の男性と衝突。被害者には後遺障害が残った。
3	約5,400万円	2007年 (東京地裁)	男性が信号を無視して交差点に進入し、横断中の女性と衝突。被害者は頭を打ち死亡した。

○自転車走行空間の整備イメージ



○自転車対歩行者事故件数の比較(京都府)



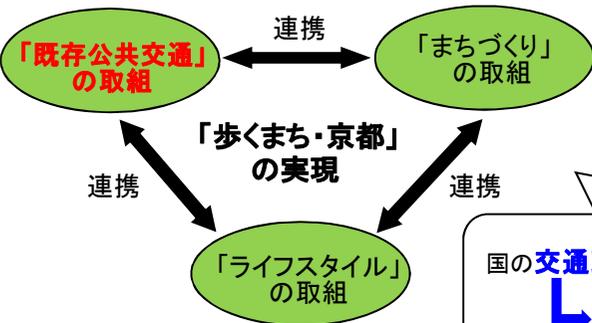
- ①自転車走行空間の整備のための必要財源の確保
- ②自転車を対象とした自賠責保険制度の創設
(所有者把握のため全国的な取組が必要)

都心部地区などを重点地区と定め、「面的なネットワーク整備」を実施

- ①自転車の安全利用に資する走行環境整備を進めるため、全国初の面的整備の取組を京都から発信する
- ②被害者救済としてセーフティーネットの整備に資する

「歩くまち・京都」の実現を図るための財政支援

「歩くまち・京都」総合交通戦略の3つの柱



特に、「世界トップレベルの使いやすい公共交通」の実現を目指すためには

- 市内最大のターミナル駅であり、入浴される方々にとって「京都の玄関口」である京都駅の南口整備への財政支援
- 地域ネットワーク形成を目的とした、中山間地域におけるバス事業者に対する補助制度の拡充
- バリア解消促進等事業に係る安定的な予算の確保 など

国の交通政策基本計画(27年2月策定)に沿った政策を既に展開中!

【基本方針】
 豊かな国民生活に資する使いやすい交通の実現 など

交通政策基本法の理念の具現化、基本計画の実現にも寄与!